

1. 夜回り 2月7日(水)

帰宅が遅かったので、軽く食事をして30分寝てから出発し、8時に着きました。8時10分にはすぐ出発しました。Wさんから本日の相棒にと言われたのは、「足がご不自由で車の中においでになるかもしれない」というI rさん(ご婦人)とSmさんは元気そうな若者で、お二人とも初めての参加という元寺の信者さん。もう一人のKmさんはベテラン中のベテラン。何しろ最近までホームレスをしていたので、この活動では歩くナビゲーターでした。Hさんのお世話で路上を脱し北山に住んでいて、以前よく西仙台教会にも『THE BIG ISSUE JAPAN』を売りに来ていて私も買ったことがありました。炊き出しの時も必ず手伝いに来ます。きょうはHさんから「カレーがたんと食えるよ」とだけ言われてきたそうです。ネアカな彼はおかしそうにそれを繰り返しました。さもありなん、はめられましたね、と言ってともかく出発です。話し好きの彼は、車中ではむかし取った免許を再発行してもらうために今7回テストを落ちている話にはながさきました。

最初はいつも国際センター裏のベンチに向かいます。I rさんの意思を聞くと、歩くというので、一緒にゆっくり行くことにしました。足が不自由な様子でしたが、そのことは何も尋ねませんでした。ベンチの方は起きて一服していましたが、私たちを寄せ付けませんでした。しつこく話しかけたくなかったのですぐに失礼しました。

「いろんな人がいるから」と、Kmさんが後から慰めてくれます。橋の上でI rさんに待ってもらって、三人で洞窟を目指して急斜面を下ってゆきました。「どうもね。どうもね。ごくろうさまです」Skさんが繰り返していました。戻る急坂をSmさんがジャンプしたのを見て、私はややあきれました。そうこの人たちは私よりよっぽど若いのだ。

西公園のHnさんへ。「久しぶりです」Kmさんの挨拶でとおりました。OさんにもKmさんの声を通じたようでした。こんばんは高橋です、と言って、ハイと返事があってもなかなか出てきませんでした。先月いきなり新聞記者を連れてきたからだと思いました。でもKmさんの声には反応したようで、様子をうかがいながら出てきました。「きょうは新聞記者はいないから」と言って、みんなで大笑いしました。それから、憲法25条と27条の話。センター入居と労働の拒否の話。毎日12キロの散歩と食料さがしのこと。……56歳。この人の人生はどこへ向かうのか。元気なうちは社会と歩んできた道に気をはって抵抗し続ける。一度本当にゆっくり話したいと思いましたが、今は次があるので離れました。Oさんが超元気なら、もう一人の陸橋下ハウスのSmさんは空元気。ますます段ボールのゴミの山がふくらんでいました。遠くから「おーい、いますかあ? …夜回りです。…炊き出しのあんないです。」と声をかけじっと待っていると、だいぶ間があって「ハイ」というような声が出て、奥の段ボールがかぱっと動いて開きました。キャッチボールのようにしておにぎりやゆで卵、ホカロンを投げ渡しました。最後に味噌スープを互いにぎりぎりまで手を伸ばし合って受け渡しになんとかセーフ。「市の指導がうるさくてね」「そりゃそうでしょう」とやりとり。

I rさんの歩行の調子を時々忘れてしまうものだから、これはいけないと途中から前を歩いてもらうことにしました。結局最後までI rさんは車で待機することなく私たちと一緒に歩き通し、野宿の方と私たちとの出会いに参加しました。入れ替わりの多い橋下ハウスはきょうは二人でした。SnさんとStさんに残りのおむすびをさしあげて、引き上げました。

月に一度で、しかも最初で最後かもしれない出会いとふれあいに、それはこの活動をするボランティア同士も同様なのだと思いながら、この日の晩も一緒に何かを感じながら受け取って歩いたことに、感謝します。

2. 炊き出し 2月10日(土)

行くつもりが、体調をくずして病院へ。Mと生徒が参加しました。報告によると、朝からの雨で衣類配布は中止したそうです。萌友の炊き出し(第3金曜日18時~福祉プラザ9階)で配ると思います。

3. 献金 5,000円(高校卒業生) 6,945円(本学院小学校炊き出し支援募金)

4. 献品 高校1件 本学院小学校保護者多数

オーバー1 海苔10枚×18 お茶1袋 砂糖1袋 カボチャ大1個 ジャガイモ4個
米5キロ1 3キロ7 1キロ1 洗面セット1

いつも大変ありがたく思っております。お預かりしたものは、一つとして無駄にせず炊き出し活動に大切に活用されております。また次回ご協力できるものがありましたら、よろしく願います。

次回は3月10日です。